

3 薬剤師

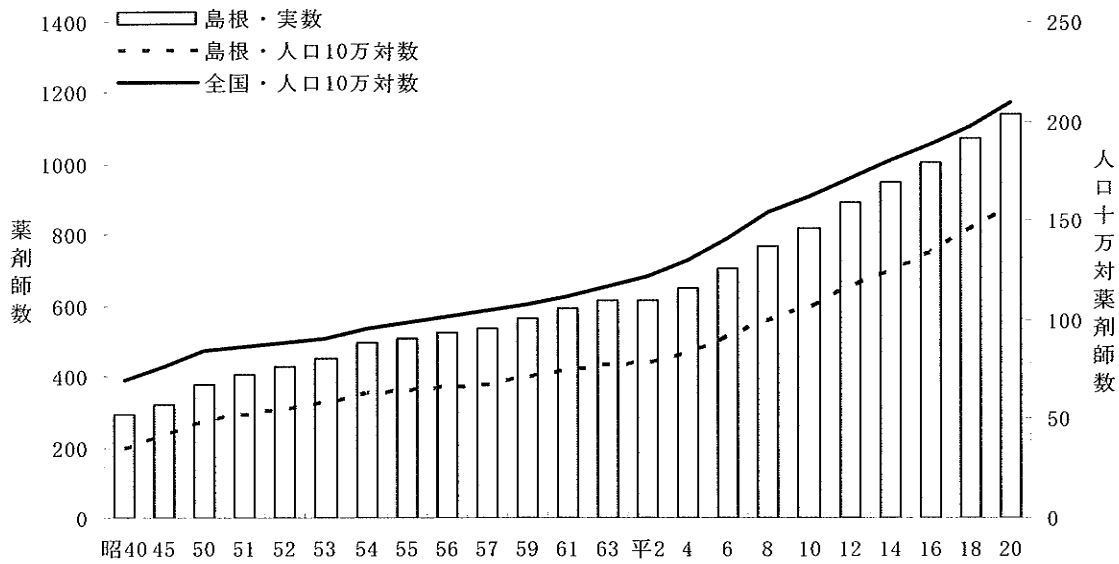
平成 20 年末現在の届出薬剤師数は 1,143 人であり、平成 18 年から 68 人増加した。業務の種類別にみると、薬局の従事者が 610 人（構成割合は 53.4%）で、平成 18 年から 52 人増加した。ついで、病院・診療所の従事者が 320 人（構成割合は 28.0%）となっており、平成 18 年から 6 人増加している。薬局及び病院・診療所の従事者が全体の 81.4%を占めた（表 4）。

表 4 業務の種類別にみた薬剤師数及び構成割合

	薬剤師数		増減数 (人)	構成割合(%)	
	平成 20 年	平成 18 年		平成 20 年	平成 18 年
総 数	1,143	1,075	68	100.0	100.0
薬局の従事者	610	558	52	53.4	51.9
薬局の開設者又は法人の代表者	111	122	△ 11	9.7	11.3
薬局の勤務者	499	436	63	43.7	40.6
病院・診療所の従事者	320	314	6	28.0	29.2
病院・診療所で調剤業務に従事する者	308	297	11	26.9	27.6
病院・診療所で検査業務に従事する者	-	1	△ 1	-	0.1
病院・診療所でその他の業務に従事する者	12	16	△ 4	1.0	1.5
大学の従事者	9	10	△ 1	0.8	0.9
大学の勤務者（研究・教育）	9	7	2	0.8	0.7
大学院生又は研究生	-	3	△ 3	-	0.3
医薬品関係企業の従事者	117	99	18	10.2	9.2
医薬品製造業・輸入販売業（研究・開発・そ	39	30	9	3.4	2.8
医薬品販売業（薬種商を含む）に従事する者	78	69	9	6.8	6.4
衛生行政機関又は保健衛生施設の従事者	28	25	3	2.4	2.3
その他の者	59	69	△ 10	5.2	6.4
その他の業務の従事者	13	17	△ 4	1.1	1.6
無職の者	46	52	△ 6	4.0	4.8
不 詳	-	-	-	-	-

平成 20 年の人口 10 万対薬剤師数は 157.7 人で、平成 18 年から 11.8 人増加した。年次推移をみると年々上昇しているが、全国平均と比べてかなり低くなっており、平成 20 年は全都道府県中第 42 位であった（図 6）。

図6 人口10万対薬剤師数の年次推移



薬剤師の年齢別割合をみると、最も多いのは30歳～39歳で24.1%、ついで50歳～59歳の22.2%、29歳以下及び40歳～49歳が19.2%となっている。2次医療圏別にみると、他の医療圏に比べ出雲圏が29歳以下の占める割合が高く、隠岐圏では60歳以上の占める割合が高くなっている（図7）。

図7 薬剤師の年齢別割合

